

平成23年7月1日発行 通巻186号 昭和40年8月21日第3種郵便物認可 発行/社団法人 滋賀県建築士会 〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-18建設会館3F TEL077-522-1615/FAX077-523-1602

社団法人滋賀県建築士会

URL: http://www.kentikushikai.jp/ **mail**: shiga-sa@mx.bw.dream.jp

湖国が滋る・水と緑の街づくり

CONTENTS

・ 平成23年度 通常総会を終えて 山本会長より ………2 •二階堂副会長退任挨拶 …… 3 • 平成23年度 青年部会•女性部会 合同通常総会開催報告 ・平成23・24年度 委員会構成 及び事業内容 …… 4 ・平成23・24年度 委員構成 … 5 • 青年委員会 『2011年びわこペーロン大会』 参加者募集 ………6 ・建築士が参画する 地域貢献 活動助成金 女性委員会 DoシリーズNo.58 報告 7 • 滋賀県建築士会女性委員会 20周年事業 研修旅行予告 アイ・湖国びと ……… • 滋賀県木造住宅講習会 案内 9 ・新入会員のご紹介

• 7月の暦

・「あきんど号ラリー参戦記」

・滋賀の街道(御代参街道)

〈第7回〉 · · · · · · 10

滋賀の街道

御代参街道

御代参街道は東海道土山宿(甲賀市)から中山道小幡(東近江市)を繋ぐ約36kmの街道である。1640年5月に春日局が上洛途中に伊勢神宮から多賀大社へ参詣した際に整備されたと伝えられ、江戸中期頃より伊勢神宮と多賀大社を代参する際に利用されたことから「御代参街道」と呼ばれている。土山宿を起点に北に分岐し日野町鎌掛宿、石原宿、岡本宿、八日市宿を経て中山道に至る街道は日野・八日市・愛知川等の市を結び当時の市場商人が利用したことから「市道」とも呼ばれた。

写真は日野・鎌掛宿に残る染物業を営んでいた商家「紺屋」である。鎌掛宿の中心にあたる街道沿いの民家にはかつての屋号札が掲げられ往時の面影を残している。



東日本大震災より、4ヶ月が過ぎようと致しておりますが、今まだ、復旧、復興の目途も立たないようであります。被災地の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。そして、会員の皆様にも、ご親戚、ご友人等、被災された方が多数おられると思います。衷心より、お見舞い申し上げ、心折れずに、前向きに頑張って頂きたいと思います。



県知事(代理:我孫子建築課長)より祝辞

さて、今年度は、昭和26年に滋賀県建築士会が創立されて、60年の筋目を迎える年に当ります。先輩各位の数々のすばらしい業績に感謝し、そしてそれを礎として、新しい一歩を踏み出してまいりたく、考えております。その最も大きな取り組みのひとつが、「公益法人化」への移行であります。滋賀県当局とも協議を重ね、ほとんどが、公益事業であることから、この様な運営内容ならば、ほぼ問題なく公益法人化が可能という判断を頂いております。他日本建築士会連合会も公益法人化へ向けて、定款変更等の手続も完了しており、より明確に社会にひらかれた、質の高い内容と運営の団体へと、一層組織強化を進めているところであります。滋賀県建築士会と致しましても、県当局との協議もふまえ、8月ごろを目途に臨時総会を開催させて頂き、最終的な手続に入りたく考えております。

そして、もうひとつの大きな取り組みは、CPD制度のオープン化の推進であります。平成21年1月5日施行の改正建築士法第22条の4の規定によりすべての建築士に対する研修を行うことが建築士会に義務付けられたことを受け、オープン化して非会員の方々にも広く門戸を開き、全ての建築技術者に建築士会のCPDを提供することに成りました。これまでのシステムを一新し、より利便性の高いICカードによる新システムを採用して、活用先の要望に応じて履修証明を容易に発行できるしくみとしています。したがいまして、今後、CPDに業務的なメリットを感じて、新たに同制度に参画する建築技術者が増えると同時に、CPD単位取得のために各種の研修プログラムに参加される機会も増えるものと予測します。このことは滋賀県建築士会として、大きく社会に貢献できる公益性のある事業と考えております。今後は、建築士会の果たす役割や責任もこれから大きく様変わりし、広い分野で、活躍することを期待されております。

そして、今、我々建築士に期待されているところも、「設計」「施工」「工事監理」以外に、環境、景観等の分野や、防犯、防災対策の計画、また、都市再生、まちづくりにまで、多岐に亘りつつあり、「コミュニティーアーキテクト」をめざす方向にあります。そんな時代のニーズにこたえられる様、会員の皆様方のご協力と、ご理解を得ながら、新しい取り組みも、進めてまいりたいと考えております。

去る5月28日、平成23年度通常総会において、全ての議案を原案どおりご承認賜り、無事終えることができました。 その中で、私を会長にと、再任のご承認を賜りました。まだまだ若輩者で、微力ではございますが、執行部、理事の皆様方のお支えを賜りながら、士会発展の為、尽力させて頂きますので、どうか今後共、旧倍にまして、会員の皆様方のご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。



総会会場の様子



新四役と新委員長

退任にあたって



二階堂 彦-

平成19年度総会において副会長を拝命し、2期4年間会員各位のご支援により無事過ごさせていただきました。

思い出に残ることを回想しますと常務理事時代の10年間(平成9年4月~ 平成19年3月)であります。発端は平成9年2月頃、千葉会長、他副会長 より建築士会に来てくれないかとお誘いを受け、4月より入局させていただき、 同年5月総会において常務理事兼事務局長を拝命しました。

主なものを少し紹介しますと、

平成12年度 建築基準法及び建築士法が相次ぎ改正され、従来行政で建築 確認法が民間でも可能になり、本県においても平成11年度より 設立に向かって、出損金、設置場所、体制等、当初、県住宅 課担当者、事務所協会会長他(当時山本藤雄 会長様)、建築 士会会長他(当時会長 千葉實 様)で検討協議し、素案の段 階で本県建築5団体長及び大津市、草津市、守山市(出損金

を5団体+3市で負担)で設立に向かって検討。

(仮称)「滋賀県建築住宅センター」設立に向かってスタートする。

平成13年度 滋賀県建築士会設立 (昭和26年11月10日) 50周年に当り記念事業について理事会で協議・実施に 賛成。

> テーマ「湖国が滋る水と緑のまちづくり」で守山市に計画の「びわこ地球市民の森」に会員家族150 余名で中木、低木、数千本の記念植樹、午後から琵琶湖上にミシガンをチャーターして一時の会員 家族(150余名)のたそがれの集いを開催し、和やかに過ごした。

> 翌2月「びわ湖ホール」にて記念式典、文化事業(創作ミュージカル)を開催。滋賀県知事、他関係団体長並びに社会福祉施設の児童170余名招待、会員家族併せ780余名で盛大に行う。又その時の入場料全て社会福祉協議会に寄贈。知事より感謝の言葉があり、又、福祉児童よりお礼の手紙がありました。

その他「こだわり住宅賞」(平成11~20年)、地域貢献活動センター設立(企画、実施に対して補助、現在迄に10数件)等。又、一方、県下の行政庁協力、湖国のまちづくり参画等々が思い出されます。

会員各位におかれては意欲をもって士会のさらなる発展に御尽力いただきますようお願いし退任の挨拶とします。

平成23年度 青年部会•女性部会合同通常総会開催報告

去る5月28日(出)に、平成23年度青年部会・女性部会合同通常総会が大津プリンスホテルにて開催されました。 今回は青年部会・女性部会合同での開催となり、青年部会員・女性部会員の他、山本会長をはじめ来賓の方々 や青年部会OBの方々など多数ご参加頂きました。

総会においては、福谷専務理事より青年・女性各部会から青年・女性各委員会への組織変更の説明が行われた後、青年委員会・女性委員会の順で、昨年度の事業報告・収支決算報告、今年度の事業計画・収支予算書・委員や役員等についての報告が行われました。

青年委員会においては、各支部で開催の運営委員会をはじめ、対外事業・研修事業・親睦事業を中心とし、『みんなの力を一つに!』をスローガンに、事業企画・運営を行っていきたいと思います。

また、女性委員会においては、20周年記念事業をはじめ、Doシリーズの研修事業など、『継続を力に!』をスローガンに、事業企画・運営を行っていきたいと思います。

今年度からの組織変更に伴い、青年委員会・女性委員会共に、さらなる発展・飛躍を目指し、今後もより元気で活発な活動を行っていきたいと 思います。

青年・女性にかかわらず、多くの方々に参加頂ける事業を行っていきたいと思いますので、各事業へのご参加・ご協力をよろしくお願いいたします。



青年部·女性部会合同通常総会

平成23・24年度 委員会構成及び事業内容

农	・総会及び臨時総会 ・助源確保の検討 ・創立60周年事業、企画立案、実施 ・名簿発刊 ・東日本大震災への支援活動について ・	・公益法人申請関連事業 ・会員への理解、周知の為の関連事業 ・定款変更の素案作成 ・公益法人認定に関する登記等の手続き	滋賀県建築士会の定款以外の総ての規定(細則・内規等)の再検討および成案作成	・会員増強	・月刊「家」発刊 ・HP管理及び企画運営 ・広報媒体に依るPR及び広告取得の検討	・機関誌「家」の発刊・ウ容、配布方法、配布先等の検討、企画	・「建築士の日」の事業 ・立体作品展の開催 ・建築甲子園の窓口	・定期講習会の開催 ・その他(CPD関連)資質向上に資する講習会	・ C P D オープン化に依る広報活動(滋賀県及び市町・関連他団体等) ・ 専攻建築士制度普及活動、登録推進 ・ C P D カードの活用及び会員カード化に伴なう推進事業・建築士資格のカード化の推進企画立案	・耐震判定評価委員会の支援	・募集及び審査・ ヒアリング・ 運営の検討	・あーき塾 ・対外交流事業 ・資質向上に資する事業の企画・実施 (渉外事業委員会協力)	・Dοシリーズ ・設立20周年事業 ・資質向上に資する事業の企画・実施 (渉外事業委員会協力)	・建築士受験(受付)の運営 ・建築士試験(学科・製図)の実施 ・免許交付式の企画・実施
祖 当 事 項	事業執行の企画、財源の確保、会員の増強、会員の慶弔及び賞罰、会員相互の交流事業の 企画、その他委員会に属しない事項	公益法人へ向けての研究、推進、認定取得	定款変更に伴うその他諸規定(事務局内規含む)を再検討する	加入勧奨の研究、推進	会員、県民等広く社会への情報の提供、企画運営について 会報、会誌の編集、発行について	機関誌「家」の企画・発刊	社会貢献事業・建築相談及び研修見学会等の計画実施について	公益、収益事業の企画運営について 行政・関連他団体との連携協働事業等について	会員の資質高上に関する事業、継続能力開発、専攻建築士制度の普及、啓発	耐震判定評価委員会の支援を行う	滋賀県建築士会会員が参画する県内の地域貢献活動を支援し、地域社会の発展に寄与することを目的とし、建築士と共に8つの視点でまちづくり、地域活動をしている、またはしようとしているグループに、活動費の助成や技術・情報などの支援を行う。	青年建築士相互の技術の向上と親睦をはかり社会とのつながりを求め、清新な感覚と情熱 をもって会の発展に寄与することを目的とする。	女性建築士が相互の交流と親睦を深めるとともに、知識・技術の向上と社会的地位の確立をはかることを目的とする。	一級、二級、木造建築士の試験関連事業
委員命名	総務企画委員会	構築・連携特別委員会	細則、內規等検討特別委員会	会員增強特別委員会	情報広報委員会	機関誌「家」特別委員会	まちづくり委員会	涉外事業委員会	継続能力開発委員会	耐震判定評価支援委員会	地域貢献活動センター	事 本 数 真	女性参買金	建築士試験運営チーム

平成23·24年度 委 員 構 成

建築士試験 運営チーム	総括責任者	山本勝義	主任	長 竹元知良	ーケリーダー	5 朱楊義章	担公田	Ė ∰	河島明美																													
Nex >PK	-	会大员津		単 土	+	展	車線	彦根	所被被使	L				_				_			_	_		_		_		_	_	1		_			_		_	
女性委員会	担当役員	常務 河島明美 彦根	後三年	甲賀 中本美栄子	副委員長	湖北 大村悟子 高島 市川真理	常任委員	大津 前田照代	大津 橋本あき子 彦根 辻上朝江	KK	大津 柴山直子	-	+	服部登	+	A 以 所 に に は か は か は か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か	+.,	湖北 富田陽登美							栗		多数	+									 -	
	\dashv						TH.	*	\vdash		Н	ш	П	+	+	+	+	\vdash	7п	my I	1 2	1 ##	擂	п)	_	+	+	+	П	Hn)		Hill	ClnL	Pto	郎		+rl/	**
青年委員会	担当役員	^{専務} 福谷 晃 彦根	※ 三年	彦根 松井俊郎	副委員長	湖東 川嶋和之 湖南 野邑辰治	大津 平井利佐	常任委員	滋東 谷口 博 滋雨 町田祐一	KK	大澤 柿本 淳	\rightarrow	''	\dashv	+	大浦 三番名子 田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	+	#T#	湖南 守里太佑	甲賀 片淵 良田智 久保友一	-	+	奥村直	+	\perp	_	・ 油水が次・ はまままます・ はまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	-	彦根 辻上朝江	彦根 林雅彦	湖北本田真司	湖北 間塚徳彦	湖北 村井重亮	高島 大塚康将	高島 澤村幸一郎	相談役	湖南 鎌江良英	+
_ 4K							т	,	競技		Н	\dashv	_	\forall	K t	K #		\vdash	Н		+		規	\dashv	炭 岩	E 3		一	拠	벤	羰	羰	叛	100	100		凝	<u> </u> K
地域貢献活動 センター委員会	担当役員	長 伊藤光男	※ 画	[大角道雄	副委員長		1 国次	K		- KK	97円県井	_	1 東郷宗宏	+	田温		本下幸玉	-	75. 本一路	諸川美那	_	(赤尾栄司	F		梅村雄—		4 牧野憲昭									 	ļ	
ंदे ≅		選条 光		田二二		州	界	K E			#	\rightarrow	無		田二		展	#	顶	女 似 解	1	新 光		4	恒		田 賦 関 類										\perp	_
耐震判定 支援委員会	担当役員	竹元知良	委員長	土野池正義	副委員長					聚鼠	本に非問か		対して日																							<u></u>		
HX		単 土		æ 舜		柯					#	ť	極																								\perp	
継続能力開発 委員会	m R		委員長	菊川太嗣	副委員長	木村 飯					カキ厩和一		梅本裕一		織田孝司		久保友二	M ₹ # +	± ₩ ₩	大蔵 滋		や口体	川岩岸人		田中健策		中川一米	10 X 11 X 1	松井公田									
幾		専彦総報	יאוי	商	IOH	青末				- KK	事件	無	極舞		極舞		甲鼠	女体	甲質	展	非	+ 展	遊		涎光		嶇	粗羰	胍									
涉外事業 委員会	担当役員	松山有信	委員長	矢場義章	委員長	清水政之	4 世界	13/40HH	姉川博則		十つ神の中		松村和夫		横江善嗣次		小田村田	1	₩ 4	森脇政男		池田秀夫	川嶋和之		久保田正利		桑野政則	71.174.17	的伊和也	Œ	松	#H1.1.4	松川信一	++#4	사기미기	河内浒廊		
叛 """		副	INM .		画	# 洪	担果	E	彦	- KK	#	ť	州		無		極	青年	極舞	即		胀	事件	展	展		展	4	版	4	京	7	32	女件	強光	個		
まちづくり 委員会	担当役員	小倉善紘	委員長	松田才宗	副委員長	松四	福华自次	(古川政博		19 18 18		前知和生				村上来	7. 电分析	小馬迪姆	大 本 五 本 八 木		杉村嘉実	西川徳衛		間塚徳彦		市川真理	# #	四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四	H 	探心二略光	11 	囲出し					
## ##X	#1	副 発 選 発	KK.	無	画	類 拠 製		が		KK	#	#	サ :	₩ K	極	1	# 握	B E	II(E-	無			光		世 元	7FB4	女配性鼠		ili ili	粗羰	狐換	粗聚	証拠				\top	
機関誌「家」 特別委員会	担当役員	型	単	森川和彦	資産						归		岸本徳佳		平井利佐		吉居龍治	# * %	144年	東郷宗宏		中村正章	田井中恭子		坂田徳一												T	
機選出	퀥.	副会長田二二二十二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	H&K	無	聖	無				KK	事件	無	事件 :	₩ K	1 中 中	# <	無		聖	極		極	-	-	粗颗	IK XX											+	\dashv
情報広報 委員会	担当役員	井島 立	単単	竹田久志	副委員長	木村 敏	1 本語	(大) (大) (大)			北二市	\dashv	前田照代	\dashv	野邑辰治		三田祐一	HI	NI NI	1111真理		や口が引																
龍板	即	副会長田二二二二十二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	KK.	凯		年津	神	無		KK	女性	無	世 :	無	世 相		世程	世	形	世 祖		崛		+													+	\dashv
会員增強 特別委員会	担当役員	河島明美	単単	山本良信	副委員長	8田郷—					11	Į.	久木野利一 三	\forall	有元正夫		鎌江良英	Η.	マ 田 タ 田 タ 田 タ 田 タ 田 タ 田 タ 日 り 日 り 日 り り り り り り り り り り り り り り	福坂秀次	+	藤村亮介	力石 健		洪 上 朝 江		一批三碟	8 77 77	7. 体机岩								\dagger	
4 記	型-	高機	H&K	個	圖	આ				KK	神	_	サー	\rightarrow	極舞	1	世程	D D	III(EF	# 類			年 1	版	4 年 4	ĮĮ Į	発光	=	25.65	- I	E						+	\dashv
細則·内規等検討 特別委員会	役員	小倉善紘	単単	大村 億	高原								中本美栄子	\dashv	東周次		河島美智子	\vdash	7.井利大																		T	
御門・内部特別	担当役員	三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	KK.	が光	副委員長	無				KK	事年	\dashv	女性	+		3	対 世 展 景 回 一 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回	<u> </u>	証 類		+			+		+											+	\dashv
\neg	25 E	竹元知良湖	単	一	委員長	横江善嗣次 大	加片其田	H = 10.1			井 5 井 5 井 5 井	_	十 議 が		村上友一		小 女国	Æ	以近	久保田正利		植栄良次			坂田徳一												+	
構築•連携 特別委員会	担当役員	型金長 大禅 九	※	世	副奏圖	大禅横	極界	_	光 元	KK	舟十	4	- 無	+	州州	+		_	甲質	湖東 久	_	彦根 位	帽	_		IK									_		+	\dashv
						₩			競		\vdash		# \ \ \	\dashv		+					+		\vdash	\top		XX	御		liα					_	_		+	\dashv
総務企画 委員会	担当役員	長 伊藤光男	※ 三年	1 杉江文雄	副委員長	四	1 一油卸井			- KK - IIIX	个指个册	_	十		鎌江良英		[大角道雄	# # +	-	1 矢場義章			松井俊郎	4	(赤尾栄司		2 古川政博	-	5 田本民信							<u> </u>	_	
		聖金田		展		2 歴	照照	-	4		車	\rightarrow	州 4 9	\rightarrow	7 端年	/40 FE	8 田温	+	D 三	10日	+	11	12 事年	쎈	13 選光	1	74 選光	1	III III Ω		<u>o</u>	1		Ç.		19	\perp	50

『2011年びわこペーロン大会』参加者募集!!

琵琶湖の夏!「びわこペーロン大会」の季節です!昨年までは、もう数秒のところで表彰台を逃し、大変くやしい結果でしたが、今年こそは初の表彰台へ! 今月からレースに備え有志の練習を行います。青年委員会の団結力と負けない元気をご期待下さい。再度、体力に自信のある方、熱い声援をおくっていただける方、是非、ご参加・お力添えをよろしくお願い致します。

今年は、6年間の経験と皆さんの熱い力で表彰台を目指し、楽しく、熱い琵琶湖の夏にしましょう。(当日は、楽しい昼食を予定しております)参加希望の方は、(紐)滋賀県建築士会事務局までご連絡をお願いします。



昨年のペーロン大会の様子

●開催日:8月20日仕 7:00~(8:00~開会式)雨天開催 ※予備日:8月21日(日)●開催場所:大津市湖岸なぎさ公園 サンシャインビーチ ●参加費:2.500円程度の予定

『2011年びわこペーロン大会』参加申込書 8月20日出

区	分	支部名	氏 名	連絡先
□一般	□会員	支部		
□一般	□会員	支部		

%一般の方は、「 \square 一般」にチェックを、会員の方は「 \square 会員」にチェックと支部名までお願いします。連絡先には、いつでも取り易い連絡先をご記入下さい。

お申し込みはFAXにて・・・(社)滋賀県建築士会 事務局 (FAX.077-523-1602) (#BL\077-522-1615)

~皆さんのまちづくり、地域活動を支援します。~ 建築士が参画する 地域貢献活動助成金

平成23年8月まで!

滋賀地域貢献活動センターは、滋賀県建築士会会員が 参画する県内の地域貢献活動を支援し、地域社会の発展 に寄与することを目的としております。

当センターでは、建築士と共に次の8つの視点でまちづくり、地域活動をしている、またはしようとしているグループに、活動費の助成や技術・情報などの支援をしています。

助成金

●1件の限度額:30万円かつ事業費の1/2

●本年度総助成額:90万円

助成の条件

- ■滋賀県建築士会の会員2名以上(継続して5年以上の会員) が参画している活動グループ。
- ●営利を目的としない地域貢献活動グループ
- ●平成24年3月20日までに報告書等の提出を行なう事。
- ●他の助成金を受けている場合は、助成を受けられない場合があります。

地域のまちづくり

自然環境の保全・整備

歴史的遺産の保存 及び再生と活用

福祉環境の整備

景観の保全

地域防災づくり

居住環境の保全・整備





応募の申請は、 次により申し込 んでください。 ②提出期間:助成申請の応募は、平成23年8月31日 (平成23年度限定)まで受け付けております。

●来年度の申請予定についても相談に応じます。

提出および問い合わせ先



大津市におの浜1丁目1番18号 建設会館3階

TEL.077-522-1615 FAX.077-523-1602 E-mail: shiga-sa@mx.bw.dream.jp

DoシリーズNo.58「建築甲子園」優勝作品

~わたしのまちの油田~実建築をめざして

"かばた見学"と未来の建築士を交えて車座井戸端会議―

昨年開催された、第1回建築甲子園において滋賀県立安曇川高校総合 学科建築デザイン系列1年(現2年)の女生徒が優勝されました。今回そ の作品のテーマに取り入れられた川端を見学してきました。

地元ボランティアガイドさんによる案内で約1時間、新旭町針江地区を廻 りました。集落の中心を流れる針江大川はその7割が涌き水といわれるだけ あり、至る所で水が湧きその美しさは目を見張るばかりでした。地下二十数 メートルから湧き出す水は年間を通して13度前後と変わらず、ほぼ年中梅花 藻が花を付けるそうです。また、各家々の川端には鯉や大ナマズなどが飼わ れ、使った水を美しくして自然に帰すことが徹底されていました。その鯉や大 ナマズのサイズも川端の歴史を感じさせるには十分すぎるくらいでした。

夏冷たくて、冬暖かい、そんな豊かな水により敷地内に川端が取り入れら れ、今も生活の一部として根付いている背景には、この地域の人たちがここ の良さを理解し守りたいと願っているからなのでしょう。

午後からは建築甲子園優勝者古閑さんに作品「わたしのまちの油田」に ついてプレゼンテーションをして頂き、引き続き指導担任太田教諭のお話を 伺いました。

その後、古閑さんの作品の実建築をめざしてという内容で、井戸端会議を 行いました。設計者、行政、商工会、設計事務所、工務店など様々な方面 から集まって頂き、活発な意見交換ができ大変有意義な一日でした。

これから実建築までにはクリアしなければならない問題が数多く出てくると 思います。しかし、今回の井戸端会議のように各方面から様々な人たちが集 まり、いろいろな角度から検証することにより一歩ずつ可能性が近づいてくる のではないでしょうか。私たち女性委員会もこのDoシリーズを通じて勉強を 続けていきたいと思います。







梅花藻の繁る美しい水



水車の前で 集合写真



外かばたの様子



太田教諭による教育指導の講演



作品発表する古閑さん



車座井戸端会議 古閑さんを囲んで



集合写真

滋賀県建築士会女性委員会20周年事業

犬島アートプロジェクト「精錬所」

瀬戸内海に浮かぶ島



トとアーキテクチャーを巡る研修旅行

~犬島・直島・小豆島で 芸術作品に触れ・語り合いましょう~

昨年『瀬戸内国際芸術祭2011』が開催された、瀬戸 内海の島々。数々の芸術作品と建築物が点在し、何度で も足を運びたくなる場所です。しかし、船の便も少なく、 なかなか一度で見て廻る事は出来ません。女性委員会で は20周年記念事業として、この瀬戸内海の三島を巡る見 学研修旅行を開催します。

船をチャーターすることで効率よく島を巡り、さわやか な秋の日を満喫しましょう。宿泊先の小豆島では、周年 記念として女性部の足跡をたどり、懇親会で未来に繋げ ます。どなたでも参加できますので、多数の参加者をお 待ちしています。男性・女性・会員・会員外問いません。 土日ですので、ご家族での参加もOKですよ。

【主な見学予定場所】

直島/地中美術館

犬島:妹島和世 家プロジェクト 三分一博志 精錬所(2010年度 日本建築大賞受賞)

直島:妹島和世+西沢立衛/SANNA

海の駅「なおしま」

家プロジェクト 安藤忠雄 地中美術館

●日時:平成23年10月15日生~16日日

●会費:会員 35,000円(予定) 会員外 45,000円 (予定)

※ 詳しくは月刊『家』8月号にてご案内いたします。

- アイ・湖国びとの愛情視線 **-**

森 泰之さん 1974年、京都市生まれ。 成安造形大学造形美術科立体造形 クラス卒業。同大学と栗東高校の 非常勤講師。TWO THREE IRON FURNITURE代表。大津市堅田在住。

第5回 造形作家 森 泰之さん

和鍛冶に学ぶものづくりの心

鉄、ステンレス、真鍮などの金属素材とガラスや木材を組み合わ せたインテリアや家具を制作する造形作家。大津市伊香立の山中、 琵琶湖を望むアトリエで小さなオブジェから建物の外壁まで様々、手 掛けている。作品の一つ、JR長浜駅前にあるモニュメント「アクアツ リー」はステンレスとガラスでできている。昼は太陽光に輝き、夜は 無数のガラスの葉が光って周囲をほのかに優しく照らす。「待ち合わ

せのスポットとして育ってくれたらいい な」と表情がほころぶ。

現代的な作品を数多く手掛ける中に あって、今、最も大切にしたいと思っ ているのは日本の伝統技法だという。 20歳代の頃はヨーロッパに憧れた。ス ペインの鍛造技術を夢中で学んだが、 年齢を重ねるにつれて日本人としての ルーツをたどってみたいという気持ち が強くなってきた。和鍛冶、野鍛冶の 技術に興味が湧き、古い本を読んだ り、堺の和包丁の柄つけを習いに行っ たりした。「削りにしても、溶接にしても、



JR長浜駅前の「アクアツリー」 (株)黒壁・(株)フエンテとの共同作品

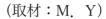
国友鉄砲の名でも知られる長浜市国友町に母方の祖父の家があり、子どもの頃からよく訪れた。古い 集落のお宮さんや畑が遊び場だった。鍬や鋤などが収められている農小屋から鎌を拝借しては草を刈って 遊んだ。手にしつくりとなじんだ鎌を振るとスパッと切れて気持ちが良い。「シンプルな形にあって、使い勝 手の良さが子供心にもうれしかったことを覚えています。そんな幼いころの思い出がルーツとなって今の仕

機械でやれば簡単ですが、昔ながらの手仕事を覚えていく中で、精神や人

とものをつなぐ何かがそこにあるように思うんです。それをつかみたい」

事につながっているのかもしれませんね」と笑う。

今、長浜市宮前町にある長屋を「ものづくり」の 集合施設に再活用するプロジェクトを木工作家や漆塗 り職人の仲間らと進めている。改装した長屋の中に森 さんは鍛冶屋を開く。体験教室とカフェを兼ねた空間 にして、鍛冶屋の仕事を身近に感じてもらえる場所に する計画だ。長屋の大家さんは奇しくも元鈑金屋さん。 「何か教えてもらえることがあるのではないかと楽し み。長浜曳山祭の飾りに使われている彫金技術も知り たい」と、これからの交流に期待を込め、「覚えた技 術を作品にどう生かしていくかはこれから。新しいこと にどんどん挑戦していきたい」と意気込んでいる。





炉で熱せられ赤くなった金属をハンマーで叩いて自在に形をつくる

滋賀県木造住宅耐震診断員講習会 滋賀県木造住宅耐震・バリアフリー改修工事講習会

同時開催です

滋賀県木造住宅耐震診断と改修工事の講習会を下記により開催します。

この講習会は、県内の市町が実施している、耐震診断員派遣事業と耐震・バリアフリー改修事業の円滑な施行を目的に、滋賀県内の建築士・施工者等を対象に開催するものです。

講習会を修了された方には、講習会修了証を発行します。

講習会を修了された方は、受講者の資格に応じて、「滋賀県木造住宅耐震診断員登録名簿」「滋賀県木造住宅耐震・バリアフリー改修工事講習会修了者名簿」に登録申請することができます。

●開催場所: コラボしが21 3階 大会議室 大津市打出浜2番1号

●開催日:平成23年8月24日冰 13:00~17:00(受付12:30~)

●受講料:無料

●受講資格

耐震診	断員	建築士(1級・2級・木造)の方で、県内に勤務または居住されて いる方
耐震・ バリアフリー	設計者等	主たる事務所(本社・本店等)を滋賀県内に有し、建築士事務所 登録を滋賀県知事より受けた建築士事務所に所属する建築士
改修工事	施工者	滋賀県内に主たる営業所(本社・本店等)を有する法人または個人 (受講者は技術系職員に限る。)

●講習会の申込方法:申込用紙(滋賀県土木交通部建築課建築指導室のホームページよりダウンロードできます)に必要事項を記入の上、申込先にファックス、E-mailまたは郵送で送付して下さい。 申込書を元に修了証が作成されますので、わかりやすく丁寧にご記入ください。

受付は先着順とさせていただきます。(定員は140名程度)

●申込先・お問合せ先:滋賀県土木交通部建築課建築指導室(住まいの安全対策担当)

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1-1 TEL.077-528-4262 FAX.077-528-4912 E-mail hb0101@pref.shiga.lg.jp

新入会員のご紹介

支	部		氏	名		住	主 月	f
湖	南	杉	本	直		草	津	市
们力	円	峰		洋	美	湖	南	市
甲	賀	谷	内	啓	介	湖	南	市
彦	根	林		雅	彦	彦	根	市

平成23年6月理事会承認分

7月の暦

1	金	赤口		11	月	仏滅		22	金	先負	
2	土	先勝		12	火	大安	まちづくり委員会	23	土	仏滅	
3	日	友引	二級建築士試験〈学科〉	13	水	赤口		24 日 大		大安	·一級建築士試験〈学科〉
4	月	先負	青年委員会	14	木	先勝	理事会	24	日	人女	·木造建築士試験〈学科〉
5	火	仏滅		15	金	友引	建築関係五団体長会議	25	月	赤口	
6	水	大安		16	\pm	先負		26	火	先勝	
7	木	赤口		17	П	仏滅		27	水	友引	
8	金	先勝	·総務企画委員会	18	月	大安	海の日	28	木	先負	
0	並	兀肦	・地域貢献活動センター委員会		火	赤口		29	金	仏滅	
9	土	友引		20	水	先勝		30	土	大安	
10	日	先負	_	21	木	友引	評議員会	31	日	先勝	

あきんど号ラリー参戦記

1999年 第4回アジアンラリー

~マレーシア・タイ・ラオス4.500km~

第4回アジアンラリーは、3カ国目のラオスへ踏み入 れることとなった。総走行距離は4,500kmである。我々 あきんど号は前年と全く同じ体制での参戦であるが、大 津市堅田から2度目の参戦となるチームと「Team SHIGA Japan」としてチームエントリーもすることになった。

マレーシアの公用語は英語で通貨はリンギット、タイは タイ語のみで通貨はバーツ、ラオスは、タイ語が通じてバー ツも使えるが通貨はキップ。ちなみに1万円は200,000キッ プで、この大量の札束が短期間では使い切れない額と言 うことで換金をやめ、燃料はバーツで支払うことにした。

Leg1 初日にしては厳しすぎるコース。フロントのショッ クアブソーバーがパンクしてしまった。容量よりストロー ク長さの問題のようだ。 Leg2 ゴールしたら3台しか いない。4番手でゴール! しかし、バッテリーを固定し ている台にクラックを発見。初めてのトラブル箇所だが、 結構深刻であり、リタイアにつながるものである。通常は 10年使用しても絶対に壊れない箇所であり、ラリーのスト レスはやはり過酷だ。Leg3 フロント左ショックが岩場 でヒットし、折れてしまった。そしてフロントタイヤの摩耗 も激しく2本とも新品に交換。Leg4 ヘビージャングル で、どこを走ればよいのかわらないほど木々が密集してい る中、エンジンが吹かなくなった。ターボがブロー(壊 れた) したと思い車を止めて調べると、ダストシュノーケ ルの頭がどこかへ飛んでしまい、葉っぱが入り、エンジン に空気が吸い込めない状態であることが判明した。葉っ ぱを取り除き回復した。遅れを取り戻すために全開で走 行したところ、ゴール手前10kmで水温計の針が無くなっ ている事に気づく。よく見ると、振り切れてメーターの枠 外に行っていたのだ。クールダウンをし、あるだけのペッ



丸太橋、後続車脱輪

トボトルの水を補給し何とかゴール。しかしMaxタイムを 7分オーバーしたため3時間のペナルティを貰ってしまっ た。残念だ! Leg5 翌朝、気持ちを切り替え出発。し かし、ラリーは甘くない。細い丸太で出来た橋渡りポイン トに到着。先行車が橋をかなり傷めていたため、持って いた番線で補強し渡る事にする。慎重に慎重にナビがド ライバーに指示を出し、ドライバーは忠実にハンドルを操 作し無事渡ることができた。我々の後ろの車両はこの場所 で相当な時間を費やした様だ。Leg6 SS9は雨が多く、 川は2m以上増水の為キャンセル。SS10もコースコンデ ション悪化のため短縮された。スタート直前にマシンを点 検したところラジェターの水漏れを発見。漏れ止め剤を注 入し、急きょ周りの競技者から貰えるだけのペットボトル の水を貰いスタート。途中コースが川になっているところ があり、日本人はみんなで土木作業。韓国チームは川を コンボイ走行。我々も必死の走行でゴール、日本人でトッ プゴール。Leg7 最終日、タイからラオスへ。左側通行 から右側通行へ。ボーダー越えの途中で道がクロスして いるのだ。ここはラオス首都ビエンチャン。ボーダー越え の後、民族衣装で着飾った女性の歓迎セレモニーを盛大 に受けた。そしてオフィシャルカーがコースの下見に出発 したものの戻ってこない。ズルズル・ヌタヌタの最悪のコー スコンデションだ。我々はいちかばちかの判断でタイヤの 空気圧を限界まで下げスタート。判断は正しく見事にゴー ル。総合9位!クラス優勝!チーム賞2位!またまた、もう 少し上位を狙える感触を手にしたのだった。

(湖東支部 辻本隆志)







滋賀の街道(御代参街道)

東海道土山宿からの分岐点(街道起点)には「右 北国 たが道 ひの八まんみち」と刻まれた道標が残る、この道 を北上すると街道唯一の峠「笹尾峠」が有り峠道を下り終 えた集落が鎌掛宿である。街道沿いには歌碑や道標が数 多く残り、街道の面影を今に伝えている。



山へ抜ける峠道にて)



街道沿いに立つ歌碑(日野から土 御代参街道南の終端、東海道と の合流地点(土山宿)